

～「誰一人取り残さない」ために～

《SDGsの17の目標》

SDGsには、17の目標があります。どうして17もの目標があるのでしょうか？それは、広い範囲で取り組むべき課題があるからです。

SDGsが目指す17の目標は、①環境②社会③経済の3つの分野に分けられます。地球環境を守りながら、すべての人が尊厳を持って生きられる社会と、誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことができる経済を実現することで、誰一人取り残さない世界を目指すことがSDGsの目標です。

さまざまな目標の実現に欠かせないのが、図の一番上にある「17.パートナーシップ」です。1～16までの目標はそれぞれが努力して実現できることもありますが、ともに手を携えたりしなければ実現できない難しい問題ばかりです。そこで、国だけでなく、自治体や団体、企業、個人などあらゆる段階でパートナーシップを緊密に結び、強力に動いていこう



ということが最後の目標である「17.パートナーシップ」です。

J Aは、協同組合として他の協同組合との連携にも早くから取り組んでおり、自治体や企業などの連携も広がっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsで未来をつなぐ

J Aいわて花巻×SDGs

「SDGs」とは？

「SDGs (エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、国際連合(国連)が2016年～2030年までの15年間で達成しようと掲げた国際社会共通の目標です。

私たちの子どもや孫、ひ孫、その先の世代までも、ずっと豊かに暮らしていけるように、今やるべきことを大きく17個に分類したものが、「SDGs」です。

J Aは「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んでいます。今回の特集では、SDGsを紹介するとともにJ A事業におけるSDGsの取り組みを紹介します。

《 私たちにできること 》

私たちの普段の生活でSDGsに取り組むには、どんなことができるのでしょうか？例えば、買い物をするとき、環境に配慮して生産されたマークの付いた商品を選ぶ。地域の食材を使うようにする。などがあります。現状をしっかり確認し、自分がしていることをSDGsという物差しで測ることが大切です。また、SDGsを意識することでさまざまな関心を持つきっかけにもなります。ぜひ、一人ひとりが意識して取り組みましょう。

《 協同組合とSDGsの関係 》

協同組合は、さまざまな問題をみんなで協力し、解決していく組織です。

「一人は万人のために、万人は一人のために」は協同組合の精神です。「誰一人取り残さない」という行動理念を掲げるSDGsと非常に近いものだと思いますか？SDGsの中には協同組合の思想がちりばめられており、協同組合の定義や価値、原則の中にSDGsを先取りした考え方がいくつも埋め込まれています。